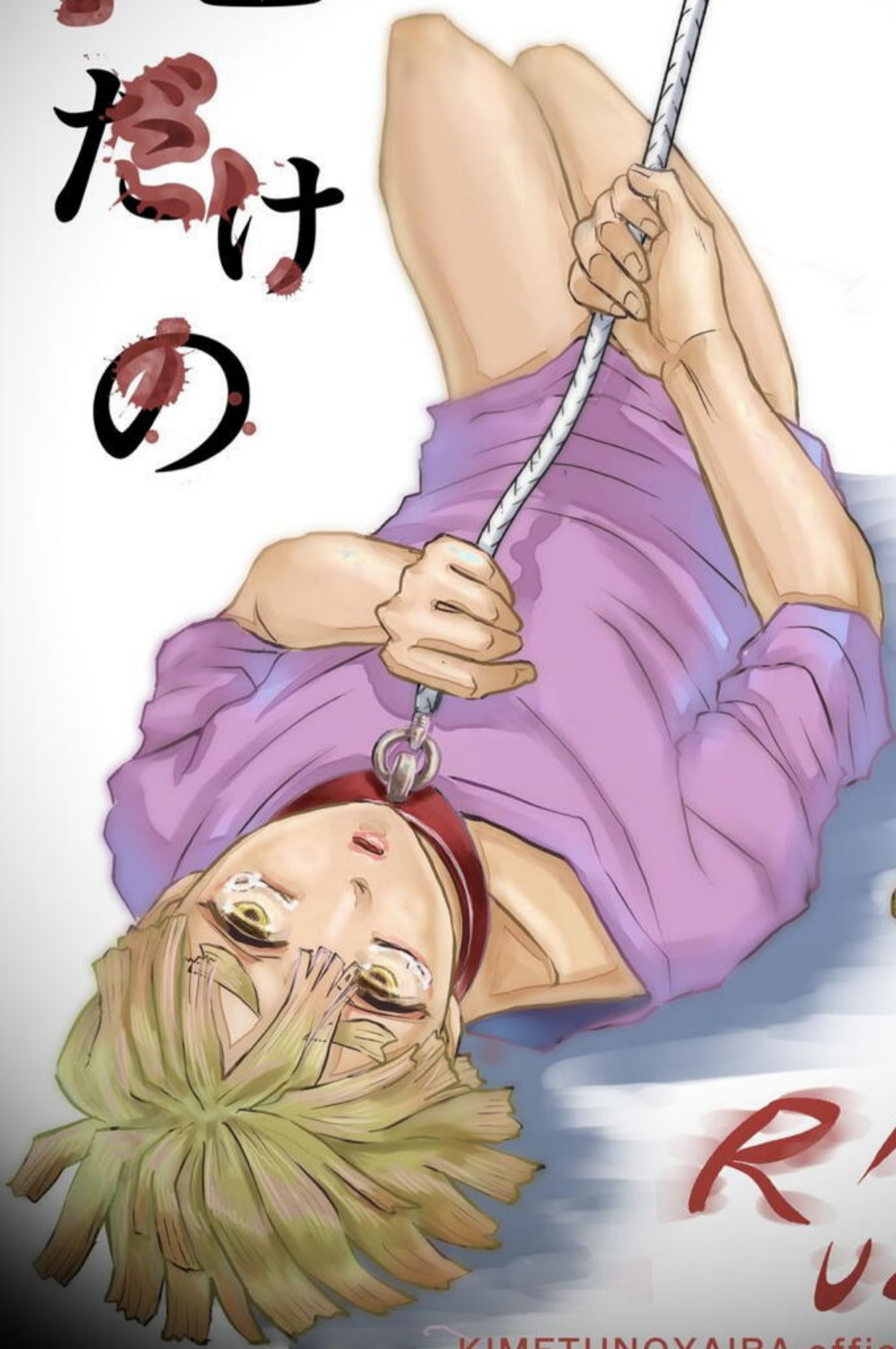


俺
だけの
の



R18
UZEN

KIMETUNOYAIBA official fan book



※現パロ宇善です
※拉致監禁無理やりな表現があります
苦手な方はご注意ください
※ご観覧は自己責任でお願いします

俺の独占欲の強さには
自分でもほとほと呆れる

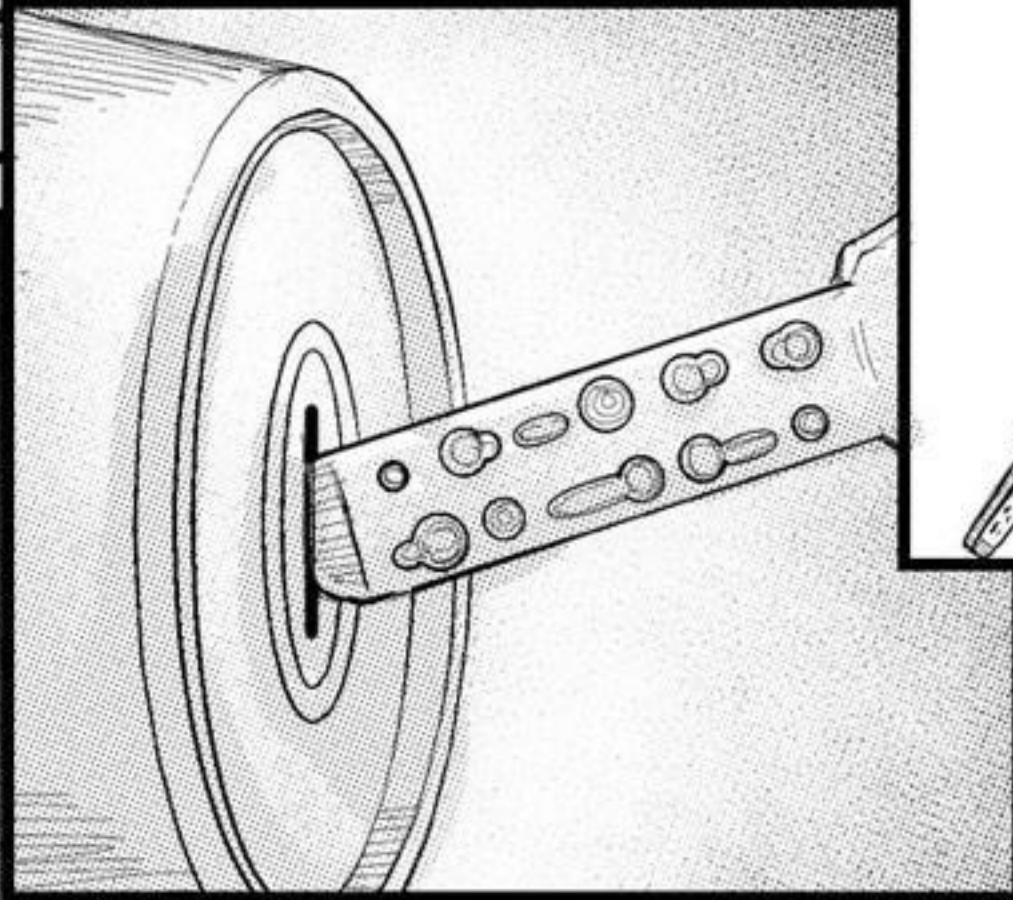
オマエのことを
一番好んでいるぞ

俺の善逸

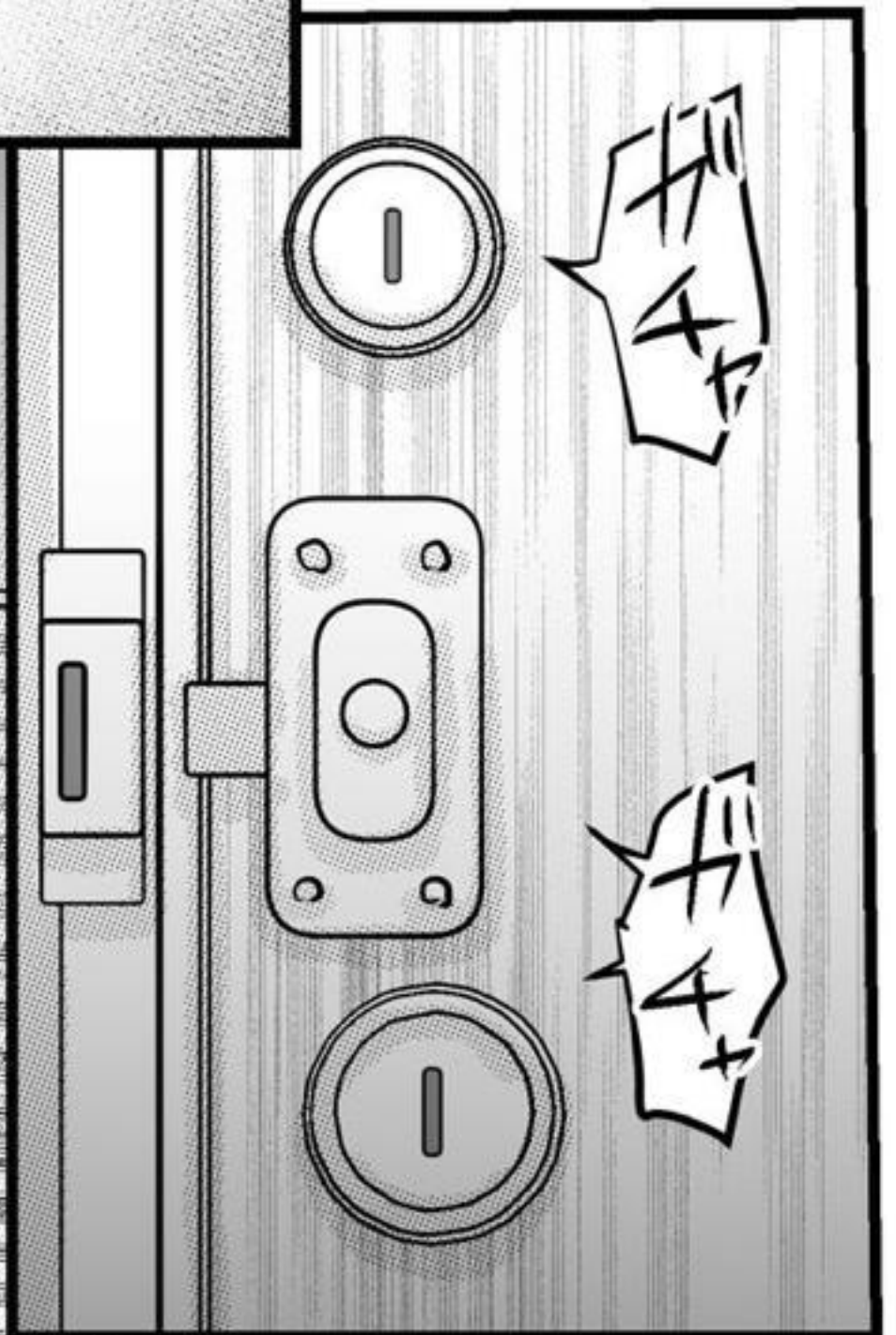
宇髄さん俺も

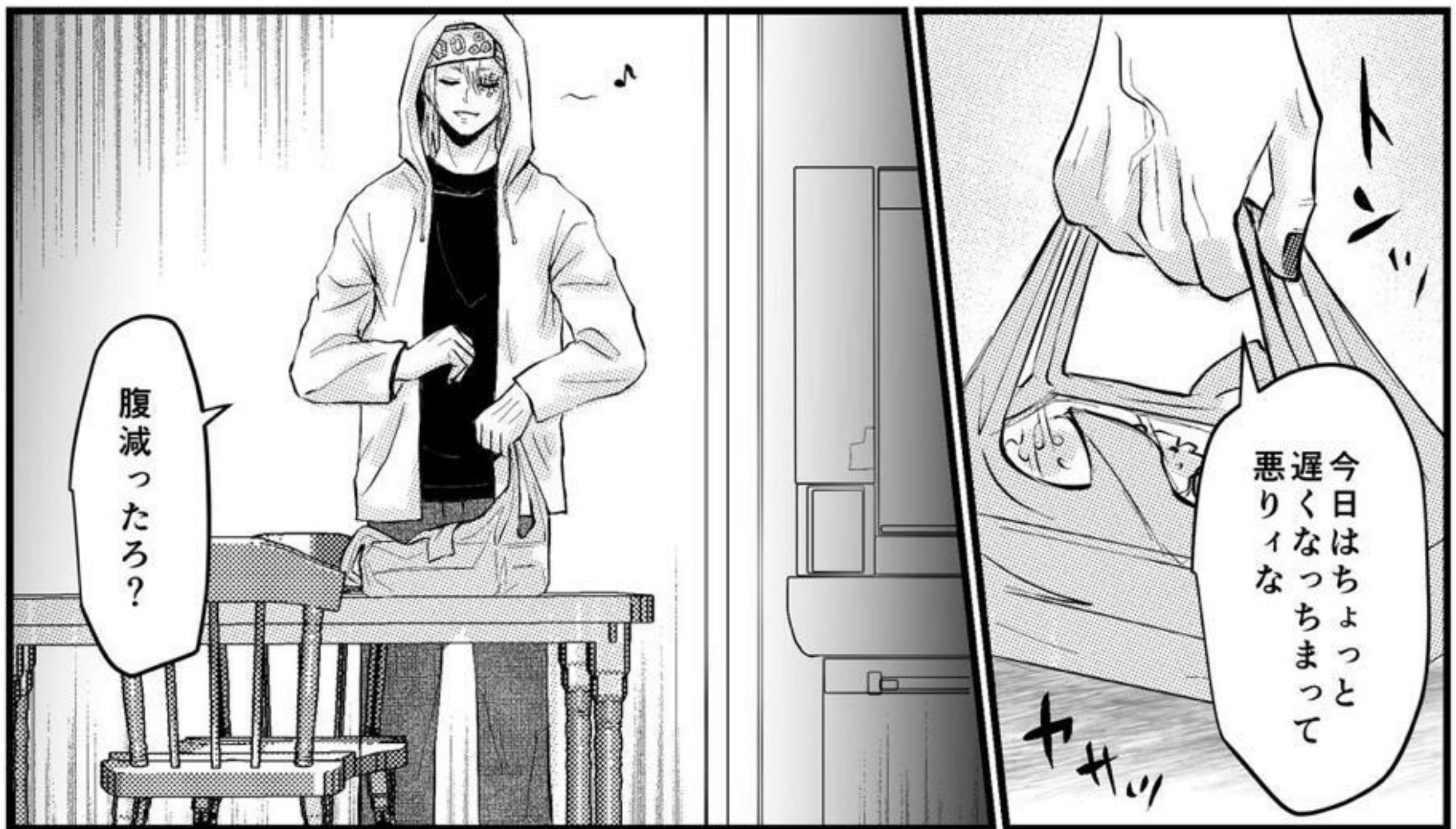
俺も宇髄さんが大好き





ただいま





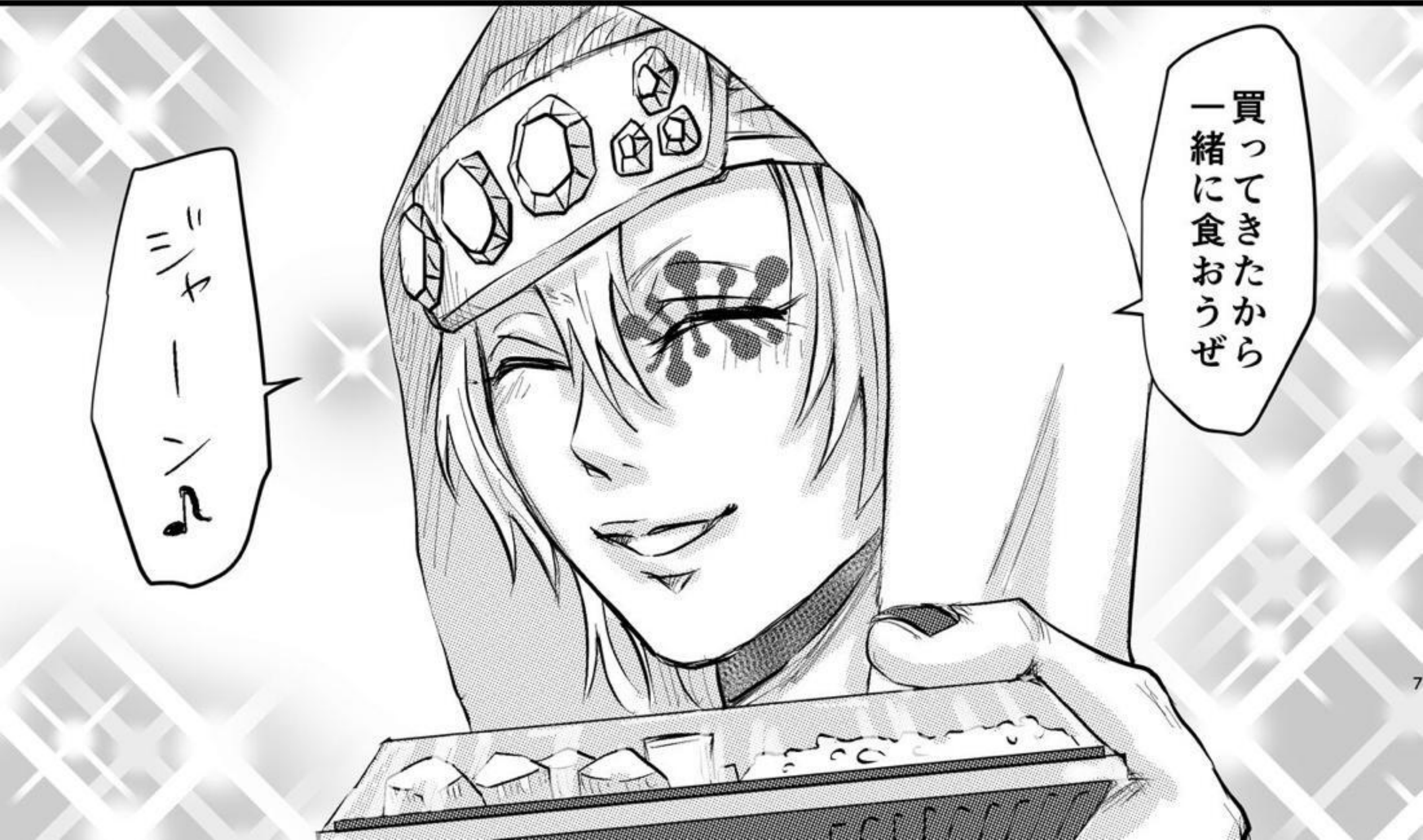
腹減ったろ？

今日はちょっと遅くなっちゃまって悪りいな

カハッ



この弁当が派手に美味いって聞いてよ



ニャーン

買ってきたから一緒に食おうぜ

善逸



痛いよな
今外してやるから



早くここから
出せよー！

ざっけんなよ！
こんな所
閉じ込めやがって！
犯罪だぞ！！



ブハアッ！



けっ、けどっ！

夏休みだからって
じいちゃん
きつと心配してるしー！



ダメだ
ここにいろ

もう、どこにも
いかせない



大丈夫
部活の合宿って
伝えた



なんで…

なんで
こんなことすんだよ…
意味わかんねーよ…



泣くな…
大丈夫だから

善逸：ずっと
ここにもいろ
どこにもいくな

俺には物心ついた時から
前世の記憶がある

特に鮮明に覚えているのが
我妻善逸という男について



無惨を
倒した後



じいちゃんも兄貴も
居なくなっ

一人になっちゃった

まあ、もともと
一人だし俺
別にへっっちゃら
なんだけどね



なんて言ってやがる

善逸

落ち着いたら
俺の所に来ないか？

えっ？
でも、お嫁さん達
いるし…





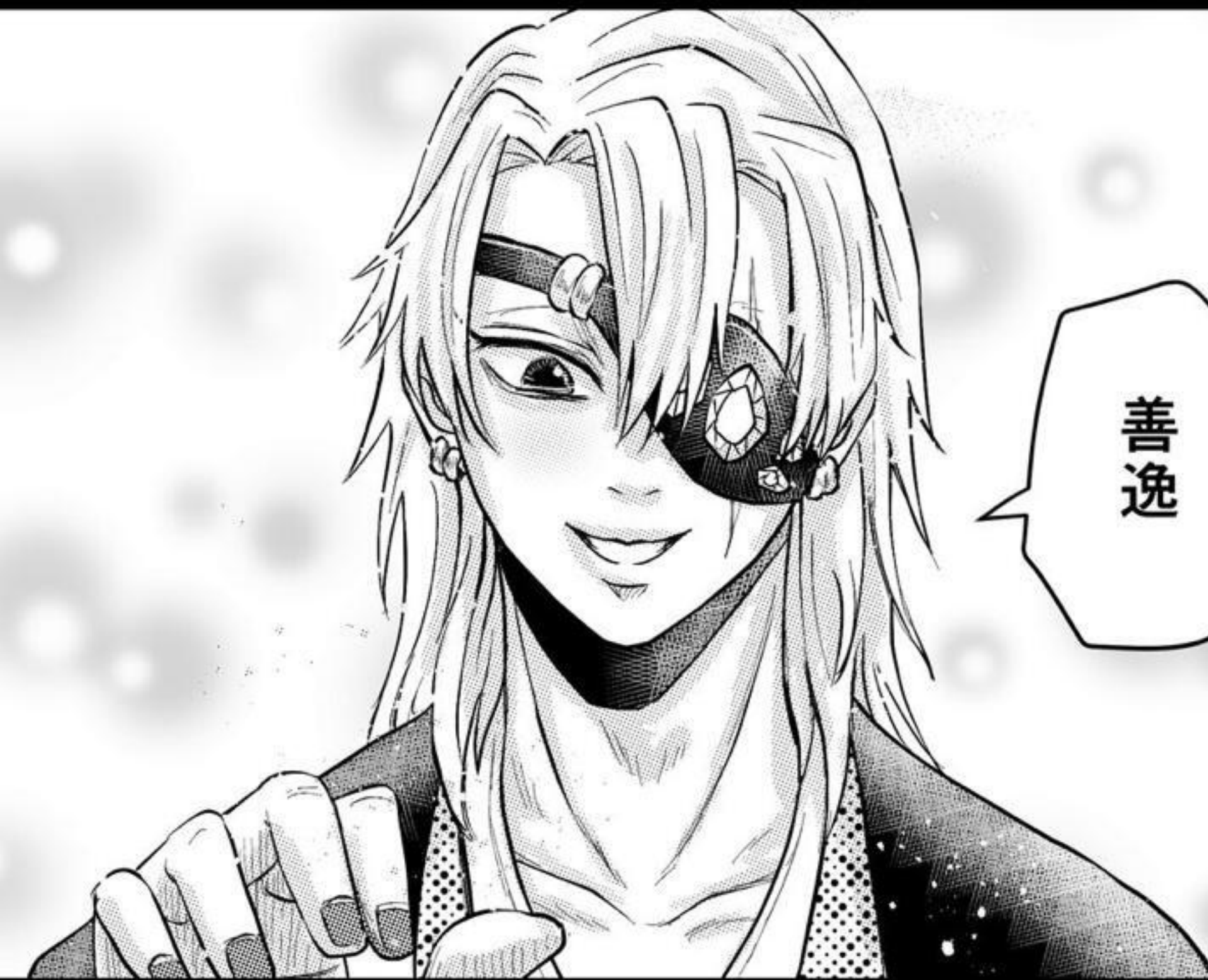
聞こえてるんだろ？
俺の気持ち

そ、それは…



嫁達には了承を
取ってる

もう、気がついて
るんだろ？



善逸

俺の所に来い

好きだド派手にな



いいのかよ…
俺で…

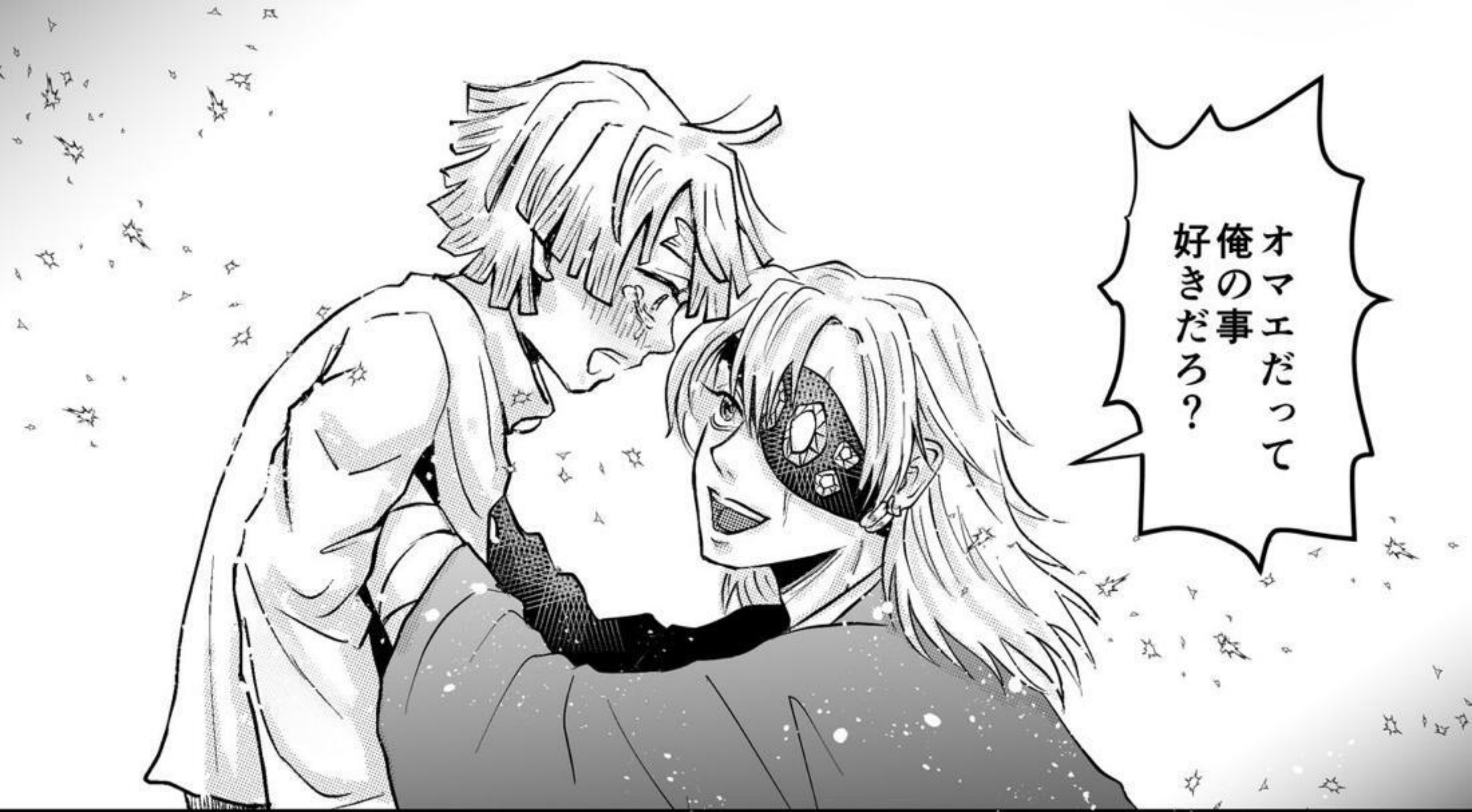
そうだ
はいと言え

アンタはほんと
初めてあった時から
強引だな



ポン

い…



オマエだって
俺の事
好きだろ？



善逸!!
ド派手に
好きって言え!

どっからくるんだよ
その自信!
ムカつくな!



はいはい!
はいはい!
好きですよ!
好きですよ!

宇髄さんが
大好き!
大好きっ!

じゃあうちに来い!

はいっ!

後日
宇髓邸

こんにちはわー

善逸くん！

天元様！
善逸くんが
来ましたよ！



いらっしやい
善逸くん

よお、よく来たな

よろしくね
善逸くん



疲れたでしょ

早く上がって

遠慮し
ないで

きゃあ♡ きゃあ♡

今日のご馳走に
しましよう



今日からお前も
ド派手に家族だ



善逸!

はいっ?



はいっ!





善逸もここにきて
ひと月か
早いもんだな



やだなあ宇髄さん
お嫁さん達も
優しいし
毎日幸せだよ

幸せ過ぎて
怖いぐらい

なんか困った事
あったら言えよ



そうだ
お前、甘いのが好き
だったよな

うん

そうか
そりゃ、派手に
良かったぜ







う……うん……



善逸……

それ意味わかって
言ってるのか？

ギユッ



俺 宇髄さんと
まぐわいたい

口吸い以上の
事がしたい

う、宇髄さんが
欲しい



シッ……

やっぱり
男の俺じゃダメ？

無理かな？
俺もお嫁さん達と
同じように
宇髄さんと……



俺っ…

んなワケねえだろ

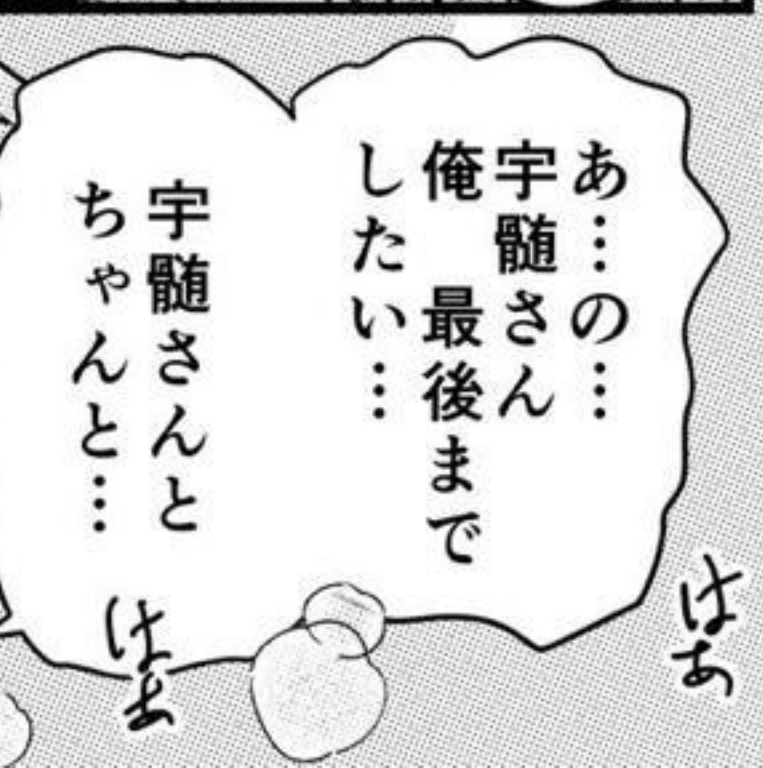
嫌なわけ

この日をどんなに
ド派手に待ってたか…

宇髓さん…









出来ると思う
準備もちゃんと
してきてて

だ、大丈夫！
俺：自分で
練習してたから



ダメじゃねえけど
俺のはド派手に
デケェから

少しづつ
慣らさねえと



あ、あの！



あっ！



なっ



本当だ
指が簡単に
入っちゃう

俺の為に...

あっ
やっ



善逸：
ほんとは
良いのか？

当たり前だろ！
その為に
準備したんだから

それとも
宇髄さんが
迷惑だったら
別に：

迷惑な訳ねえだろ

こんなのは
ド派手に
嬉しいのは
初めてだ！

ありがとな

入れるぞ
痛かったり
苦しかったら
言えよ

う…うん

宇髄さんが
入ってきてる

おれの中に

あっ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ

はあ



おいっ！
大丈夫か？

痛てえか？



あっ…

ボロ…



全部
入ったぞ

はっ

はっ



うんうん
一つになれて…
嬉しくて…

ちがっ…
宇髄さんと…



好きだ
善逸

善逸！好きだ
好きだ

あーん

はっ

はっ

あっ
はっ



おまっ…
動くぞ



キュン
キュン

善逸……？

先に起きたのか……？
なにか胸騒ぎが……

天元様っ！
善逸くんの部屋
荷物が無くなっている……
こんな置き手紙が……

善逸は翌朝
突然姿を
消した

手紙には
俺と嫁達への
感謝の言葉と
非礼の詫びとが
当たり障りの無い
文章で書いてあった

昨日のことは
幻だったのか？

何が悪かったのか

幸せだと
言っていたはずだ

それ以来
善逸が俺の前に
現れる事はなかった

そんな……

うそ……
なんで……？

俺は喪失感なのか
裏切られた事による
虚無感なのか

ただただ
後悔だけが
心に残った

あの晩
この手で感じた
あの手の感触は
あいつの感触は
幻だっただのか

この身体で抱いた
愛した
善逸はもう
どこにも存在しない

俺の下で
好いてると言った
あいつの言葉は
嘘だっただのか

何故だ：
何故なんだ：

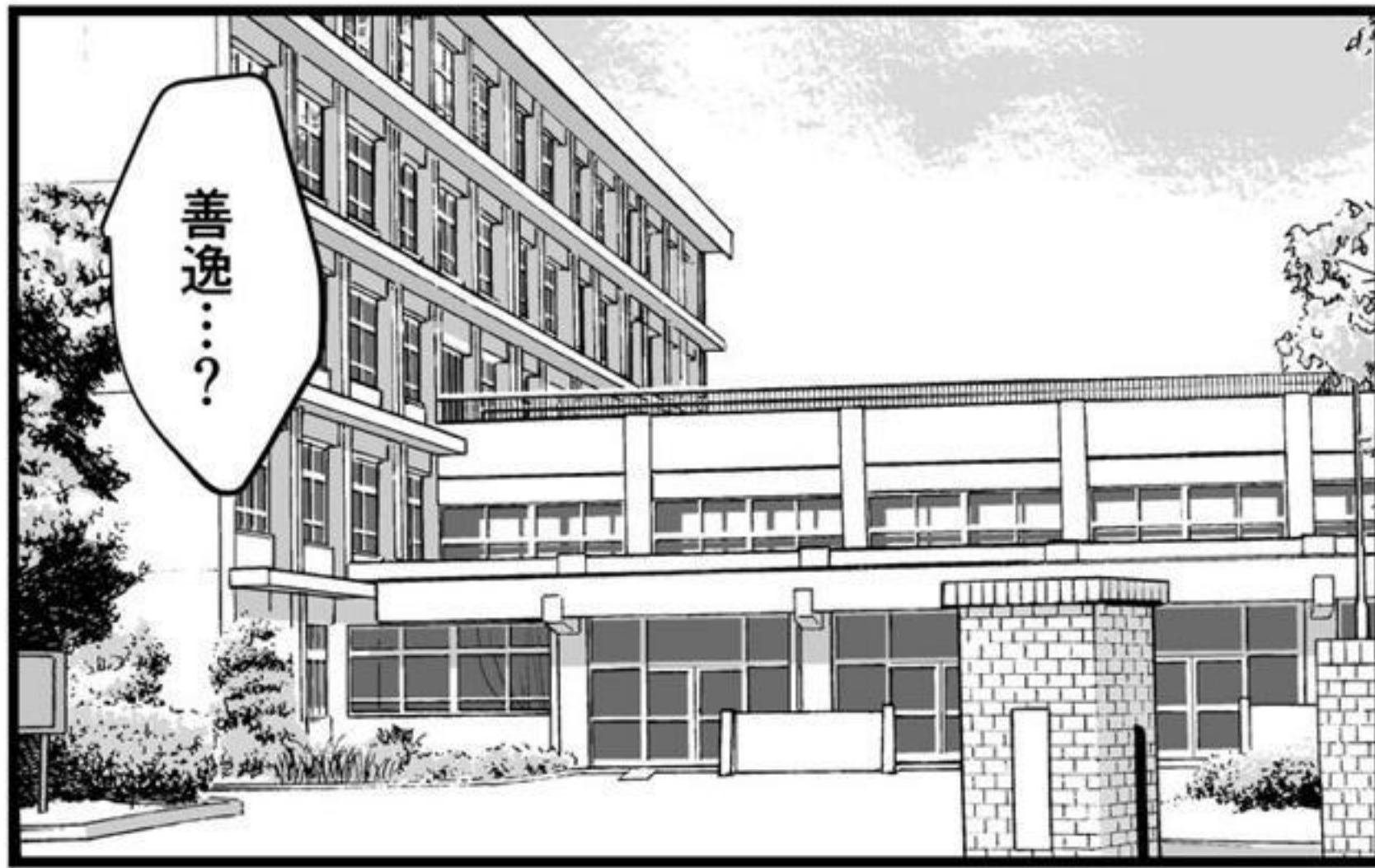
何故俺の元から
いなくなっただんだ：

俺の何が悪かった：

頼む帰ってきてくれ

善逸：

俺は生涯
この呪縛か
逃れなかつた
出来なかつた
出逃なかつた

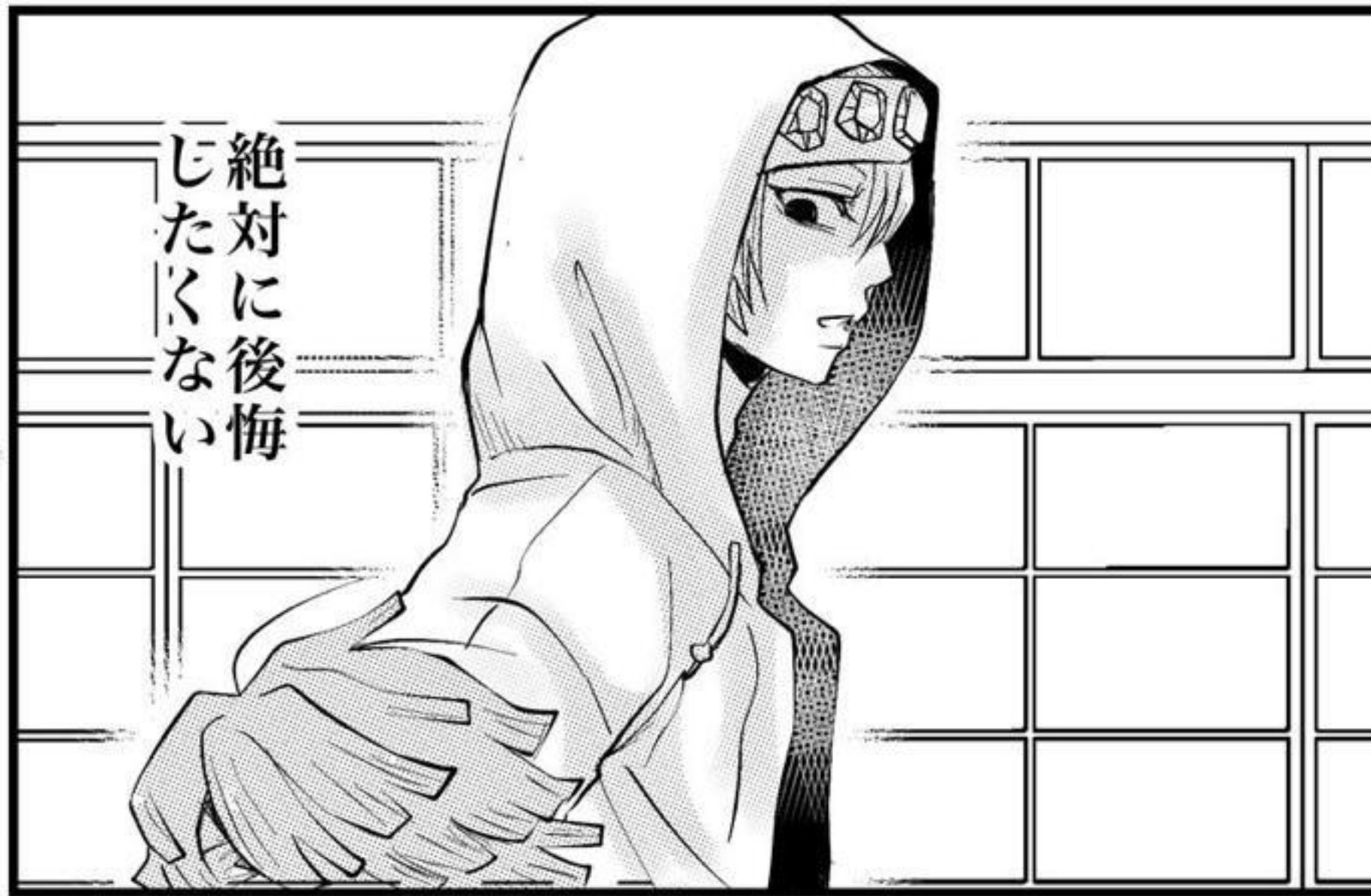


善逸……？

転生しても
その後悔の念は
心に大きな
傷を残したままだった



やっと会えた！
俺だ！宇髄だ！



絶対に後悔
じたくない



次こそは
絶対に手離さない

善逸なのか！？



てゆうか
どこかでお会いした事
ありましたっけ？

？
今、担任の先生に
呼び出しされてて
急いでるんですけど



先生？
ですか？

俺
今年入った
新入生で



やっと会えた善逸に
前世の記憶はなかった

（い）ま
（い）ま
（い）ま
（い）ま
（い）ま



もっやだあ…

俺の前から
いなくなるな

はっ

行くな…

ほっ

どっも…

はっ

ほっ

ほっ
ちゅ

ゆっ



くっ…
うっ…んぐっ

ずっ…

善逸

善逸

…



こんなの…
おかしいよな…

わかってる…

何も知らないお前を…

無理やり連れてきて
閉じ込めて

全部、俺のエゴだって

でも、どこにも
いかせたくないんだ…

二度とお前を
失いたくないんだ…


ぜん…いつ…



ここに
連れてこられて
一週間ぐらい
たつたのかな？

外が見えないから
どれぐらいいるのか
わからないや

じいちゃん
心配してないかな？
大丈夫かな？



俺は宇髄さんと会うまで
前世の記憶なんか
全く無くて

平凡でそれなりに
幸せな人生を
歩んでいたと思う

だけど…



あの声で呼ばれた瞬間

善逸…？

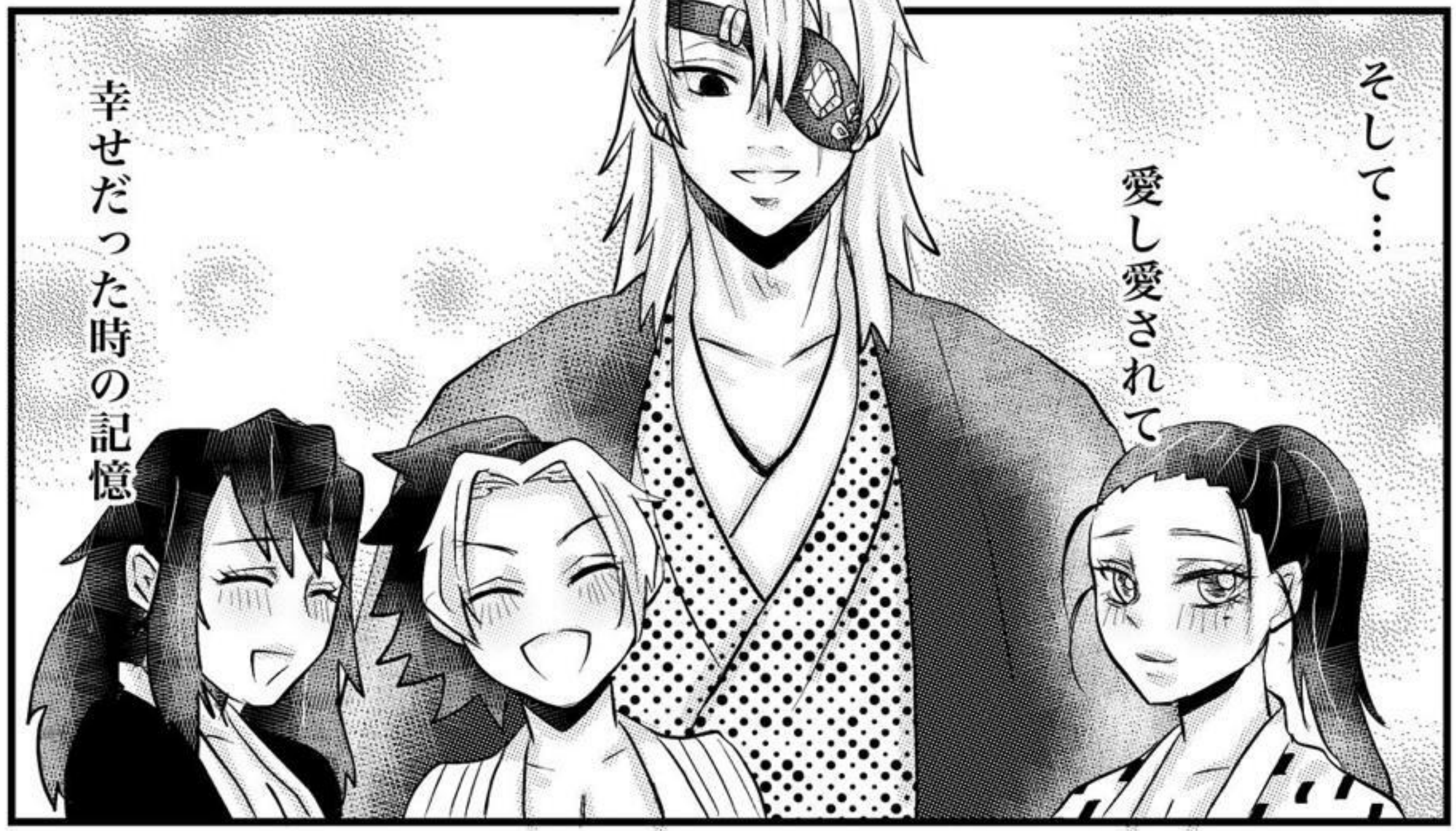


俺は鬼滅隊の時の
記憶が蘇った



命をかけて
戦った日々

恐ろしい鬼や
頼もしい仲間たち



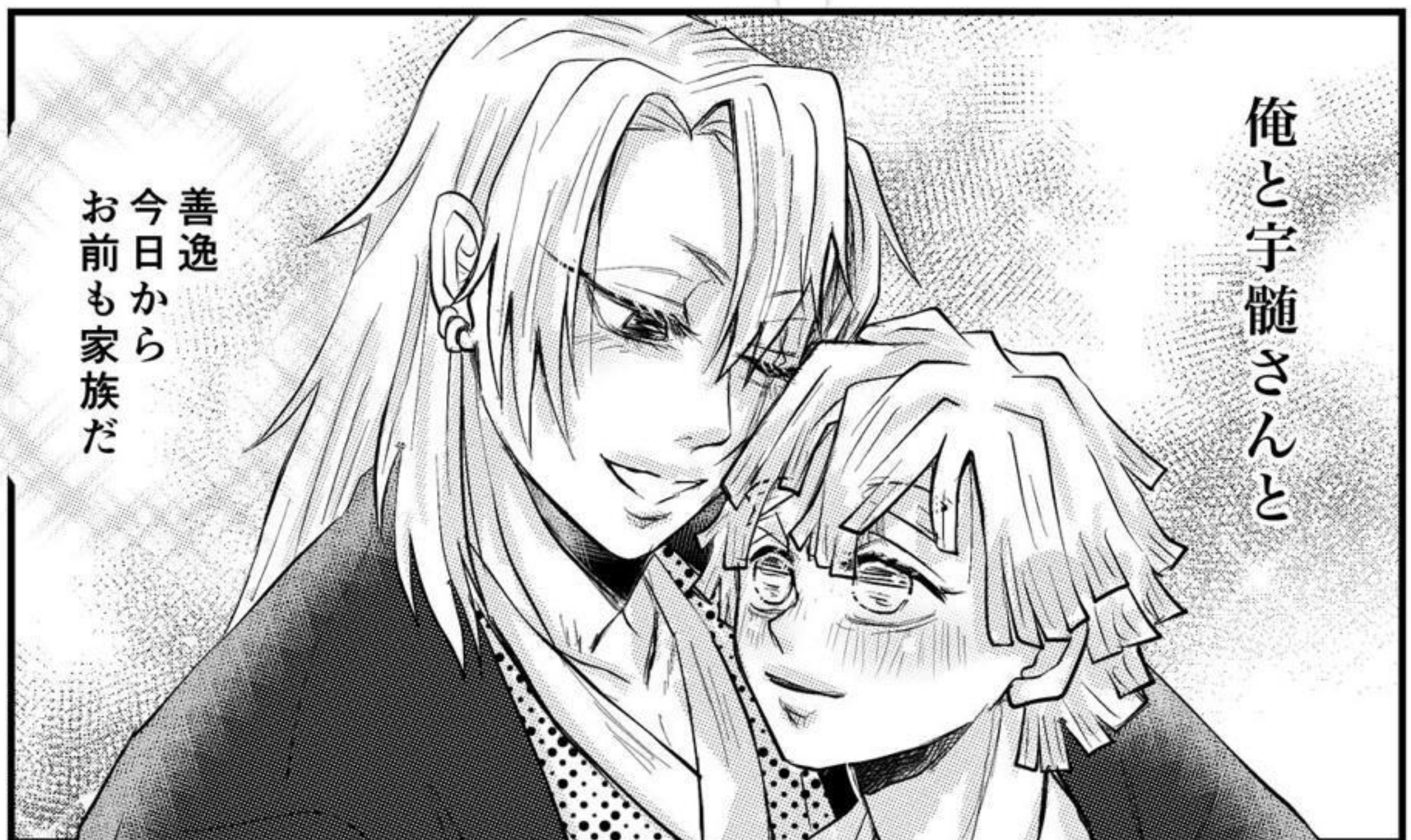
そして…

愛し愛されて

幸せだった時の記憶



大好きな
お嫁さん達と



俺と宇髓さんと

善逸
今日から
お前も家族だ

宇髓さんからは
あの時と変わらず
俺の事を
好いてくれている
音が聞こえた

やっと会えた！
俺だ！宇髓だ！

それと同時に

ひどい
後悔と懺悔と
執着の音

俺は
賭けに出た

どこかでお会いした事
ありましたっけ？





俺様な所も

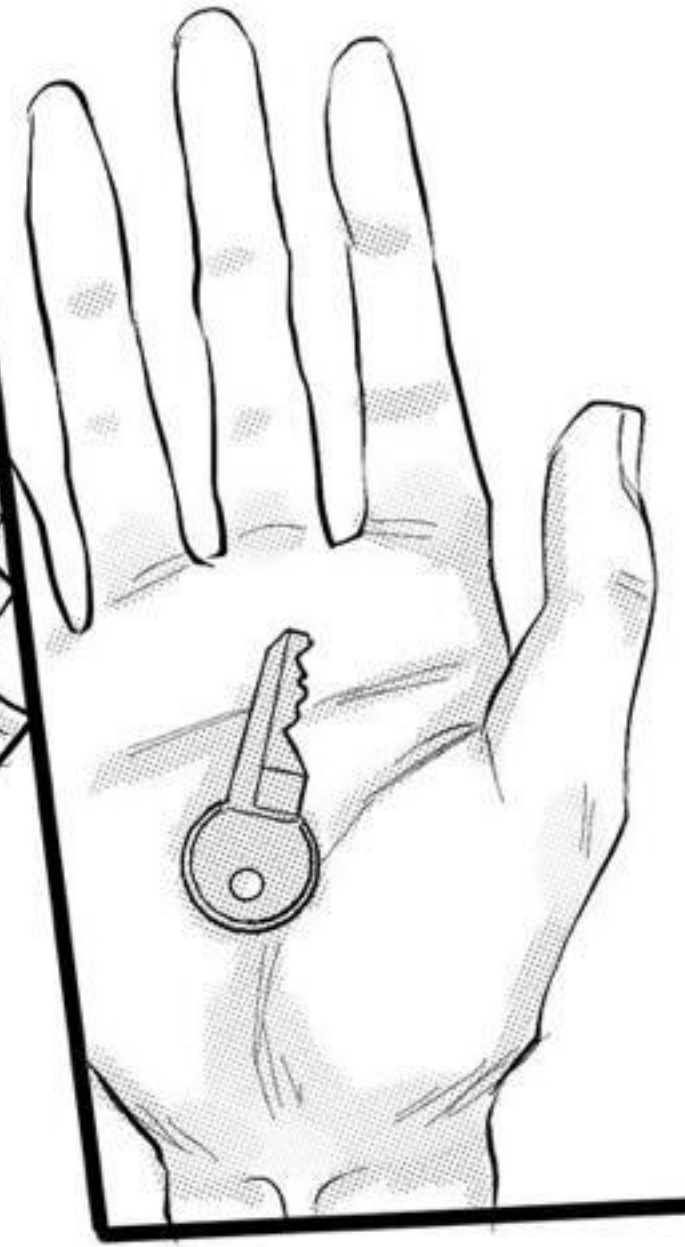
あの俺を呼ぶ声も
イケメンすぎる顔も



流石に足が擦れて
痛くなってきたなー

ちつとも
変わってなくて
安心したんだ

どこ隠してるんだよ！
バチあたりだな！



ここなら誰にも
見えないだろ

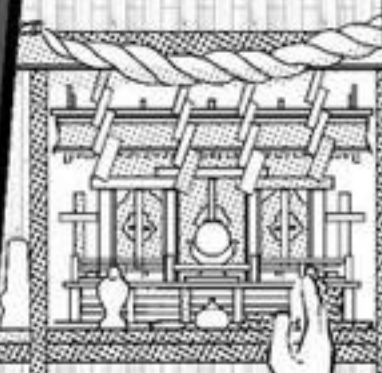
確かに
宇髓さんにしか
取れないや

よはよは！！

宇髓さんの家は
天井が高いから
神棚も高い位置に
あるんだ

神だから当たらねえん
バチよ！って言いそう

ウエヒヒ



ちよこ
ちよこ









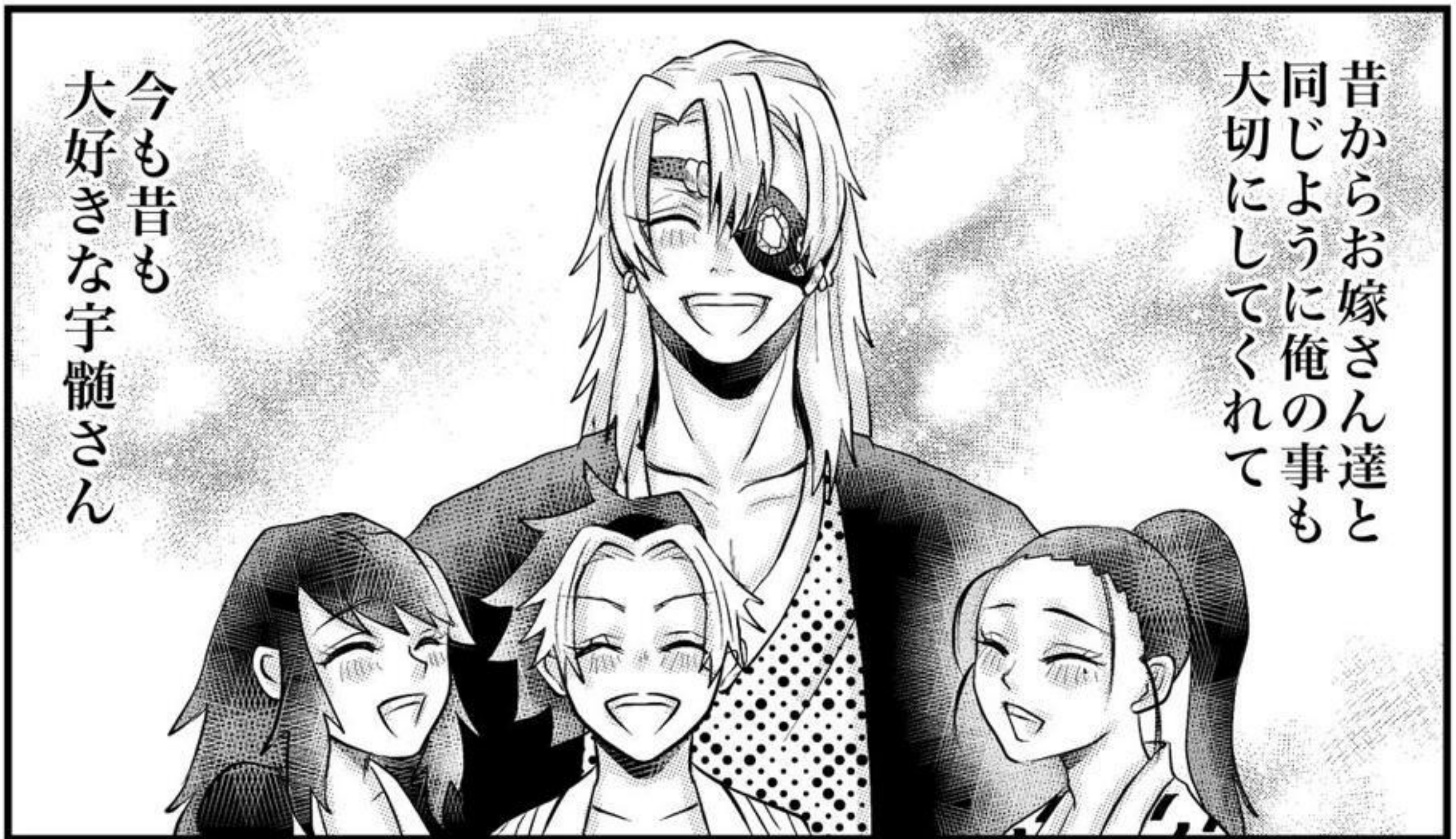
俺だけの為に

あと30秒で
到着



俺に固執して

毎日まっすぐ
帰ってくる



昔からお嫁さん達と
同じように俺の事も
大切にしてくれて

今も昔も
大好きな宇髄さん

でもさ
でもさ

俺だっ
男だしさ

好きな人
独占
したいん
だよ

あのままじゃ
俺 嫉妬で
宇髓さんも
お嫁さんも
嫌いになりそうで

そんな自分が
嫌で嫌で嫌で
逃げ出した



だから

もうちよつと
付き合つてよね

やっとあんなの
たった一人に
なれたんだからさ



俺の

宇髓さん

ただいま


俺の独占欲の強さには
自分でもほとほと呆れちゃうよ

110u/

俺だけの

ムムムム

happy end ♡



宇髓さんは目的のためなら手段を選ばないので強引な手口に出るし、基本的に男性は自分だけの遺伝子を残したいと本能で思うので、一夫多妻はあっても一妻多夫は稀であり、善逸くんは宇髓さんもお嫁さんも好きだけど男としては独り占めしたいのではないかという所から来たお話でした。お手にとって頂きありがとうございます！りーる

『俺だけの』

サークル名：裏筋カンパニー

発行者：りーる

pixiv→22123375

Twitter@reel4242

発効日：日輪鬼譚10 2020年10月11日

連絡先：urasuzi2000@gmail.com

印刷所：栄光印刷様

※この本は非公式ファンブックです。

原作・出版社・その他関係者様とは一切関係がありません。

※無断転送・インターネット上へのアップロード・フリマアプリ等への出品はご遠慮下さい。



Uzui Tengen
x
Agazuma Zenito
presents by urasuzicompany

